

令和4年12月21日

保護者各位

修明高等学校長

令和4年度学校評価アンケートの結果について

寒冷の候、保護者の皆様にはますます御清栄のこととお喜び申し上げます。

さて、11月に実施いたしました学校評価アンケートにつきましては、御多用中のところ御協力いただきまして誠にありがとうございました。

つきましては、結果について下記のとおり報告いたします。今回の結果をもとに、本校の教育活動の改善に生かしてまいりたいと存じます。

記

- 1 実施期日 令和4年11月7日～11月21日
- 2 有効回答数及び回収率
保護者285名(86.1%)、生徒324名(97.9%)、教職員57名(100%)
- 3 調査結果 本紙裏面及び別紙を御参照ください。
- 4 結果の分析の概要(「よく当てはまる」または「ほぼ当てはまる」を高評価としています。)

分野1：専門性の深化

「わかりやすい授業」の項目について、「分からない」と2割の保護者が回答した。それ以外の項目は、保護者、生徒、教職員ともに、概ね8割～9割程度の高い評価であった。

分野2：最適解の探究

「主体的に学ぶ態度」の項目は、保護者、生徒、教職員ともに低い評価となった。その他の項目は、概ね高い評価であり、特に「進路希望に応じた指導」「進路意識の啓発」の項目での生徒の回答は、「よく当てはまる」「ほぼ当てはまる」の合計が9割以上となった。

分野3：地域への貢献

「情報発信」の項目について、保護者の回答は「よく当てはまる」「ほぼ当てはまる」の合計が昨年度は7割台であったが、今年度は8割台となった。「地域との連携」の項目は、保護者、生徒、教師ともに高い評価だが、「主体的に地域と関わる態度」の項目は、評価が低い結果となった。

分野4：共生への視点

保護者、生徒、教職員ともに「教育相談」の項目の評価が、他の項目の評価と比べて低かった。「基本的生活習慣」「規範意識」の項目については、教職員や生徒の評価が「よく当てはまる」「ほぼ当てはまる」の合計が9割を超え高い評価となった。

その他

「家庭学習時間」の項目は、保護者、生徒の回答において、「1時間以上2時間未満」と「1時間未満」の合計が8割を超える結果となった。教職員の課題を出す頻度は、考査前の回答が最も多い。「満足度」については、昨年度に引き続き保護者、生徒からの評価が高かった。

全体を通して

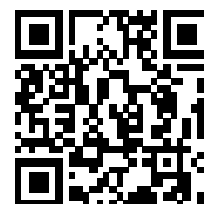
今回の「主体的に学ぶ態度」「主体的に地域と関わる態度」についての評価を踏まえ、主体性を育む教育活動をさらに推進していきたいと考えます。また、他の項目につきましても評価を今後の授業や行事等に活かし、よりよい学校づくりに取り組んでまいります。学校評価アンケート結果につきまして、御不明な点などがございましたら遠慮なくお問い合わせください。

5 その他

本調査結果、自由記述に記載のあった御意見に関する回答など、学校評価アンケートの詳細は、本校のホームページに掲載しております。

また、各学科の紹介動画なども掲載されておりますので、ぜひ御覧ください。

→ <https://shumei-h.fcs.ed.jp/> (右のQRコードを御利用ください)



(事務担当：教頭 0247-33-3214)

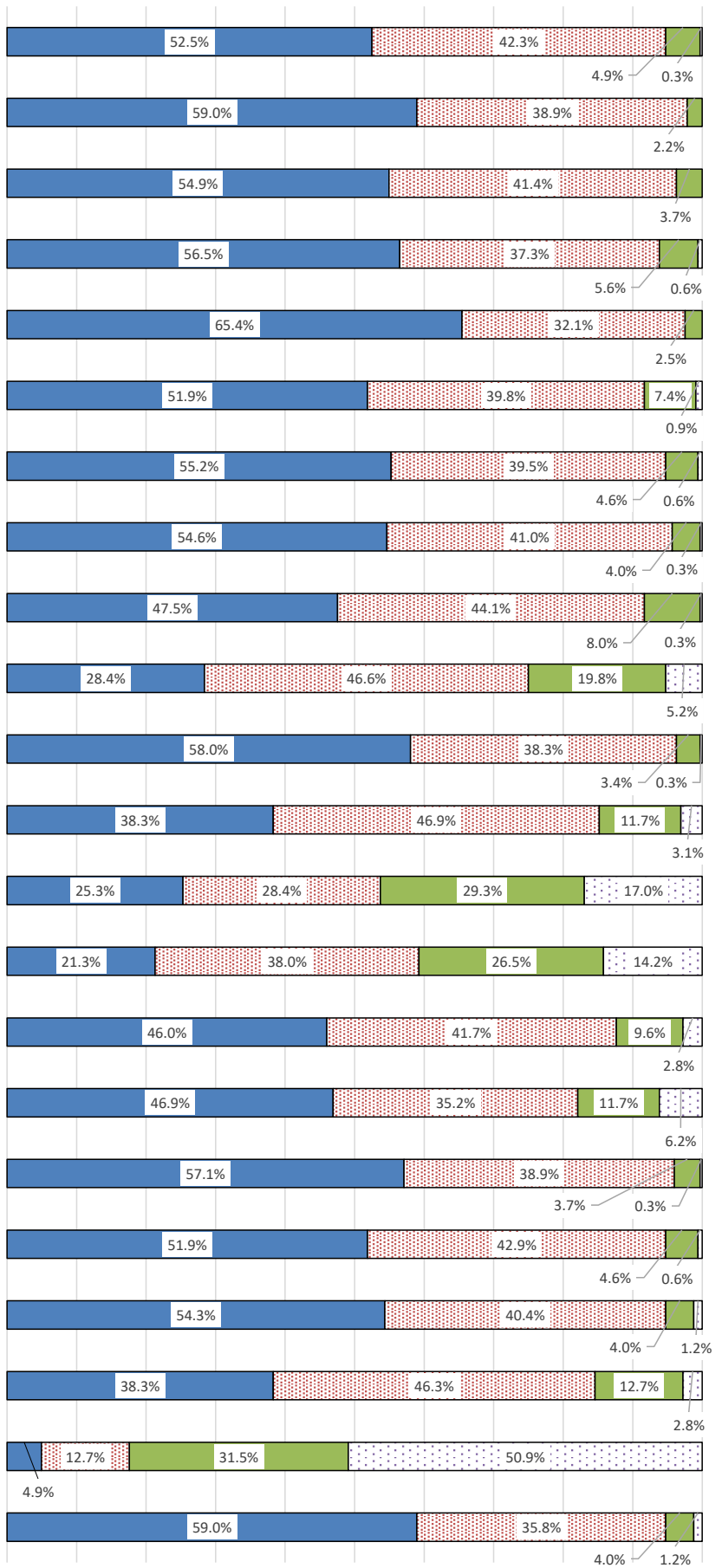
学校運営に関する調査結果（生徒）

令和4年11月7日～21日実施

有効回答数324名 回収率97.9%

よく当てはまる(A) ほぼ当てはまる(B) あまり当てはまらない(C) 全く当てはまらない(D)

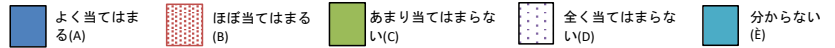
分野	内容	質問項目
専門性の深化	わかりやすい授業	本校の先生方は、板書やプリント、ICT機器の活用など、わかりやすい授業の工夫をしている。
	基礎・基本の定着	本校の授業を一生懸命受ければ、進路実現に必要な基礎・基本が身につく。
	個に応じた指導	本校の先生方は、一人一人の学力や進路希望に沿って丁寧に授業をしている。
	実践や体験を重視した授業	本校では、実験や実習、外部講師の授業など、実践的・体験的な授業を設定している。
	資格取得	本校の先生方は、各種の資格取得に対応した学習を熱心に指導している。
最適解の探究	進路情報の提供	自分の進路希望実現に役立つ情報を、学校から適切に提供してもらっている。
	進路希望に応じた指導	本校で行っている課外、模試、面接指導、諸行事等は、自分の進路希望実現に役立っている。
	進路意識の啓発	本校の先生方は、自分の適性や希望を生かし、学年に応じた進路指導をしている。
	課題解決力を養う機会	本校では、授業・実習・課題研究・LHR等を通して、自らが設定した課題を探究しようとする機会を設定している。
	主体的に学ぶ態度	私は、授業等で興味・関心を持った内容について、自主的に調べたりわかる人や先生に聞きに行ったりしている。
地域への貢献	地域との連携	本校の授業や学校行事等では、地域と連携する機会を設定している。
	地域理解と課題解決の機会	私は、本校の授業や学校行事等を通して、自分の住む地域への理解が深まった。
	主体的に地域と関わる態度	私は、授業以外でも、ボランティア活動や地域の行事に参加して地域と関わる機会がある。
	PTA活動への参加	私の保護者は、本校PTAの活動に積極的に参加している。
	情報発信	学校の情報は、ホームページ・メール・広報誌などを通して、積極的に発信されている。
共生への視点	部活動等	私は、生徒会活動や部活動、ボランティア活動に熱心に取り組んでいる。
	学校行事	本校の学校行事は、自己の人間性を成長させたり仲間との絆を深めたりするのに役立っている。
	基本的な生活習慣	本校の先生方は、生徒の挨拶や礼儀作法について指導している。
	規範意識	本校の先生方は、社会のルールやマナーの指導に熱心に取り組んでいる。
	教育相談	本校は、学校生活や人間関係、いじめなどの悩みを相談しやすい雰囲気や環境体制がある。
その他	家庭学習時間	昨日の家庭学習時間は？A…3時間以上、B…3～2時間、C…2～1時間、D…1時間未満
	満足度	私は、修明高校（本校）で学んで良かった。



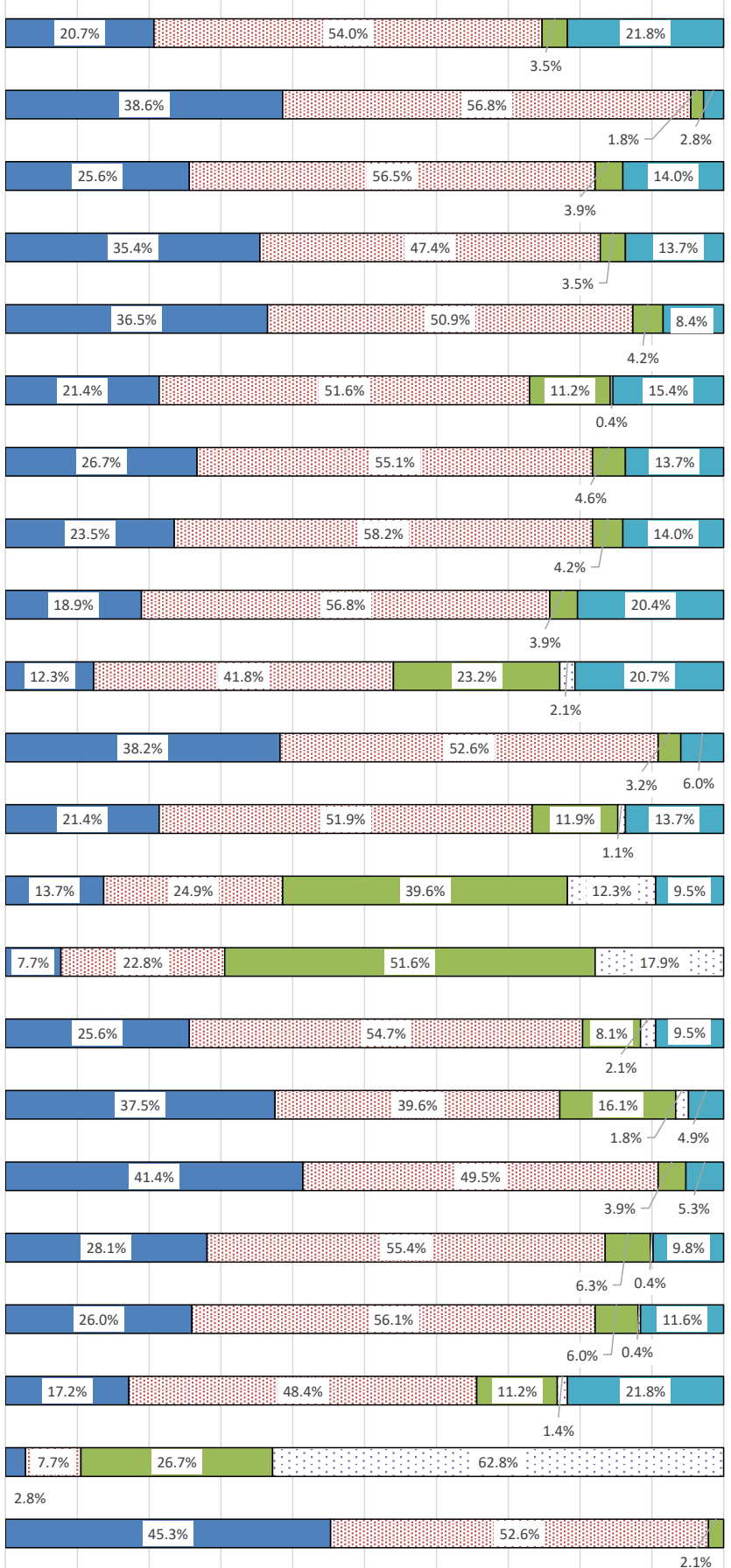
学校運営に関する調査結果（保護者）

令和4年11月7日～21日実施

有効回答数 285名 回収率 86.1%



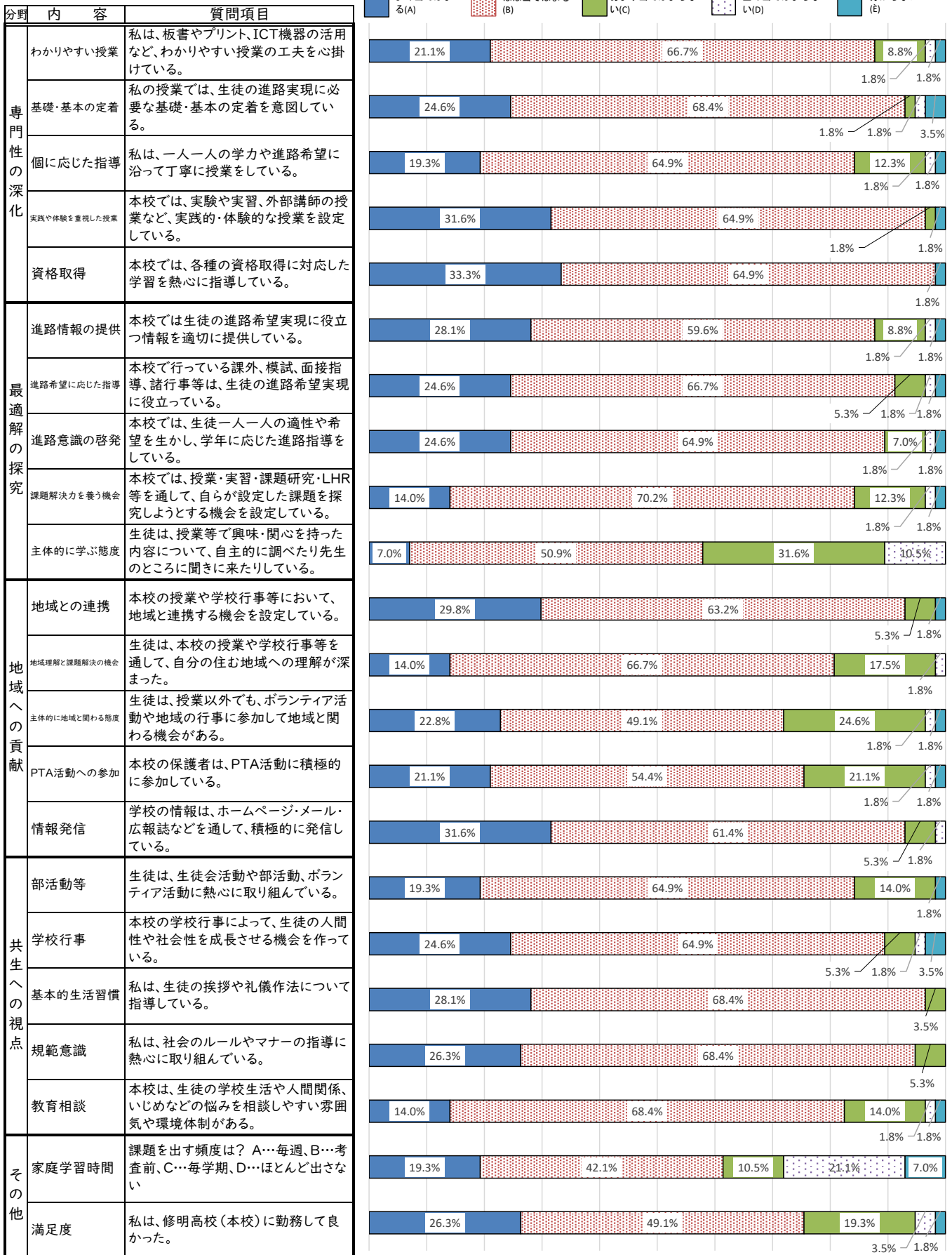
分野	内容	質問項目
専門性の深化	わかりやすい授業	本校の教員は、板書やプリント、ICT機器の活用など、わかりやすい授業の工夫をしている。
	基礎・基本の定着	お子様が本校の授業を一生懸命受ければ、進路実現に必要な基礎・基本が身につく。
	個に応じた指導	本校の教員は、一人一人の学力や進路希望に沿って丁寧に授業をしている。
	実践や体験を重視した授業	本校では、実験や実習、外部講師の授業など、実践的・体験的な授業を設定している。
	資格取得	本校の教員は、各種の資格取得に対応した学習を熱心に指導している。
最適解の探究	進路情報の提供	お子様の進路希望実現に役立つ情報を、学校から適切に提供してもらっている。
	進路希望に応じた指導	本校で行っている課外、模試、面接指導、諸行事等は、お子様の進路希望実現に役立っている。
	進路意識の啓発	本校の教員は、お子様の適性や希望を生かし、学年に応じた進路指導をしている。
	課題解決力を養う機会	本校では、授業・実習・課題研究・LHR等を通して、自らが設定した課題を探究しようとする機会を設定している。
	主体的に学ぶ態度	お子様は、授業等で興味・関心を持った内容について、自主的に調べたりわかる人や先生に聞きに行ったりしている。
地域への貢献	地域との連携	本校の授業や学校行事等では、地域と連携する機会を設定している。
	地域理解と課題解決の機会	お子様は、本校の授業や学校行事等を通して、自分の住む地域への理解が深まった。
	主体的に地域と関わる態度	お子様は、授業以外でも、ボランティア活動や地域の行事に参加して地域と関わる機会がある。
	PTA活動への参加	私は、本校PTAの活動に積極的に参加している。
	情報発信	学校の情報は、ホームページ・メール・広報誌などを通して、積極的に発信されている。
共生への視点	部活動等	お子様は、生徒会活動や部活動、ボランティア活動に熱心に取り組んでいる。
	学校行事	本校の学校行事は、お子様の人間性を成長させたり仲間との絆を深めたりするのに役立っている。
	基本的な生活習慣	本校の教員は、生徒の挨拶や礼儀作法について指導している。
	規範意識	本校の教員は、社会のルールやマナーの指導に熱心に取り組んでいる。
	教育相談	本校は、お子様の学校生活や人間関係、いじめなどの悩みを相談しやすい雰囲気や環境体制がある。
その他	家庭学習時間	お子様の昨日の家庭学習時間は？A…3時間以上、B…2時間以上3時間未満、C…1時間以上2時間未満、D…1時間未満
	満足度	お子様を、修明高校（本校）で学ばせて良かった。



学校評価に関する調査結果（教員）

令和4年11月7日～21日実施

有効回答数57名 回収率100%



令和4年度学校評価アンケート 意見・要望等に対する回答

自由記述には、下記のように多くの意見をいただきました。なお、△の意見は、学校としての回答を記載しております。

情報発信について

◎お便り等の周知方法

△学校からのお便りをメールにしていきたいと思います。（保護者）

△手紙を見せない、親に渡すのを忘れる場合が多いので、親に見せたくないような手紙にして欲しいです。子供達に考えさせるのがいいかなと思いました。（保護者）

△大切なお知らせは、定期的に学年ごとにメールでお知らせして頂きたい。とくにお弁当がない日、資格試験日など。男の子は親になかなか話さないし、言わないし、忘れていくこともあります。（保護者）

△子どもにプリントなどをくばっても親にプリントを出さないので学校で何かあってもわからない時がある。（保護者）

→本校では、保護者向けの一斉メールの活用やホームページの充実を図っていますが、一斉メールの登録状況や各家庭のネット環境を踏まえ、紙媒体での文書配付が中心となっています。文書を配付する際には、保護者に渡すことを各担任が指導しています。この指導は、知らせるべき相手へ確実に情報を伝える「報告する力」を育てることにつながります。御家庭でも自分からお便り等を出すように声を掛けていただきますよう御協力をお願いいたします。

◎授業や活動等についての周知

△学校での活動があまり見えてないので、学年便りみたいのがあると様子が少しはわかるような気がします。上の子供の高校でもそういったものがなかったので、高校では作らないのかも、作れないものなのではないでしょうか？（保護者）

△何も言わないのでわかりません！（保護者）

△学校でどんな体制で授業や指導を行っているかは、アンケートでは答えようがないと思います。実際の事がわからないので。（保護者）

→授業や活動につきまして、学校のホームページやSNS（インスタグラム）に随時掲載しております。ホームページでは、学校全体の取組とともに、各学科や学年の様子を載せています。また、SNSもスマートフォンからすぐに見ることができると大変好評で、お気に入りの登録者数も増えています。また、指導体制も含めての授業公開を毎年11月上旬に実施しております。ぜひ来校いただきまして、授業や生徒の様子を参観ください。

生徒の学習や学校生活について

◎第5回白藍祭

○先日の白藍祭はとても楽しませていただき友達との関わりや家では見れない一面など見れて良かったです。父も息子が入学し初めて行事に参加し、母校なので懐かしく感

じていました。メダカをいただいてきて、自分で水槽を用意し飼育してかわいがっています。今後も宜しくお願いします。（保護者）

○文化祭一般公開開催していただきありがとうございます。このコロナ禍で子供達のために校長先生をはじめ先生方の決断に感謝いたします。家族で楽しめました。（保護者）

◎授業

△ノートなどの答えも一緒に渡して欲しい。（生徒）

→授業の中でどのように「答え」を伝えるかは、各教科により異なります。また、授業のねらいを達成し、学力を向上させる方法は一つではなく、教員により様々です。答えが分からない、答えについての説明が欲しいと感じたときには、いつでも教員に伝えてください。

◎出席停止時の授業内容

△コロナ陽性や濃厚接触者になり、休んだ場合の授業内容はどうしているのか？生徒がその日の授業内容を知ることが出来れば良いと思います。学校での活動の様子等、もう少し発信が多く欲しいです。（保護者）

→新型コロナウイルス感染症関連の出席停止の場合には、体調や状況を確認した上で、家庭でできる学習や課題を生徒に伝えていきます。出席停止期間中は、様々な不安を感じると思っていますので、各担任は生徒の心情を踏まえながら対応を進めております。現在、タブレット端末やスマートフォンで使用できる「ロイロノート」での課題提出などを行っていますが、さらにICT機器等を活用しながら休み中の学習支援に取り組んでまいります。

◎実習等での製品販売

△学校で生徒達を作っている物を全て知りたい。買いたい。と思っている親は多いと思います。学科が違っても、通っている高校の製品に興味はあるはず。もっと買いやすい仕組みを作って欲しいです。（保護者）

→本校では、農業科が栽培した作物や製造した食品等の販売会を学習の一環として実施しております。また、商業科では、エリアマネジメントコースの授業として生徒が仕入れた商品を販売する「修明笑店」を近隣の商業施設等において実施しております。販売会や「修明笑店」は、保護者の皆様や地域の方々から好評をいただいております。生徒にとって大きな励みになっています。この度、新しい取組として、インターネット上に「修明 Online」を開設しました。このネット販売も貴重な学習機会となります。御意見をいただきながら進めてまいります。

生徒主体の活動について

△子供達主導の活動がもっと必要だと思っています。エネルギーが有り余っているこの時期に学校での行事が少ない事や、自分達で一から作るなど、科毎に設けて欲しいです。（保護者）

→学校行事や各学科の活動の充実は、学校としても取り組んでいるところです。生徒が主体的に作り上げる行事や活動は、校訓にかかげる「自律」につながります。新型コロナウイルス感染症による変更や調整は今後も考えられますが、生徒がアイデアを出

し、他者と協力して課題を乗り越える経験、達成感を得て次への意欲を高める経験ができるよう教育活動を工夫してまいります。

教員の対応について

○担任の先生に出会えて 凄く良かったって よく言ってます。担任の先生には、3年間忘れられない思い出を沢山もらえたって卒業したくないなあって言ってます。(保護者)

△理不尽に怒らないようにする。(生徒)

△生徒の意見をすぐに否定しないで欲しい。(生徒)

△担任の先生への不満が多いです。(保護者)

△子供の話をしていると、機嫌で怒ってるのか？そこで怒る？と思う様な事が時々ある。(保護者)

→教員が生徒とよりよい関係を築くことは、すべての教育活動の基盤となります。指導上の必要性から教員が注意や助言を行うことがあります。このような注意や助言は生徒との共感的な人間関係の上に成り立つものです。学校生活で何か気づいた点がありましたら、担任、生徒指導部、部活動顧問等へ御連絡をお願いいたします。

校内の環境に関して

△もう少し、相談しやすい、環境が、できれば、生徒たちも、良くなると思います！(保護者)

→本校では、生徒が相談しやすい環境づくりとして、悩んでいることや困っていることを記入する「悩みアンケート」を年5回、個別面談を行う「面接旬間」を年2回実施しております。また、学年を中心とした教員間で生徒の様子等を話し合い、変化に気付き対応できるように心がけるとともに、スクールカウンセラーへの相談日を年30日設けています。これらの取組に加え、生徒の話をしっかり受け止め、丁寧に相談を進めるよう教員の意識をさらに高めてまいります。

△バス停整備してほしい。(保護者)

→学校周辺にある生徒が使用するバス停については、道路及び交通状況の確認を生徒指導部が中心となり定期的を実施しております。また、必要に応じてバス運行会社との連絡調整を行っているところです。お気づきの点については、担任や生徒指導部へお伝えください。

校則に関して

△学校の規則の見直しが必要かと思えます。特に生徒の身だしなみについては、ツーブロック禁止、男子のヘアピン禁止。これらについては、なぜダメなのか…子供たちが納得する理由を生徒指導の先生方からも説明をされていないとの事。学校の規則だからの一言では子供たちは納得しません。前髪が長かったらピンでとめれば邪魔にはなりません。女子はピンやヘアゴムが許可されています。以前、女性の先生と電話で、ピンはなぜダメなのか聞いたところ「男女の区別をつけるため」と言われました。ジェンダーと言う悩みを抱えている子もいるかもしれない中、男女区別する判断方法がおかしくないか？と疑問に思いました。髪型によってはツーブロックも髪の毛が学習の邪魔になるとは思

えません。電話の際に「生徒指導と話し合ってみます」と言っていましたが無も変わらず話し合ったのかどうかもわかりません。生徒指導の先生方だけで話し合っても学校の規則は変わらないと思います。なぜこの規則があるのか。先生方一人一人がきちんとした理由を生徒に説明できるように学校全体の教職員で話し合わなければならないのではないでしょうか？理由が説明できないものは廃止するべきです。規則がある以上、子供が疑問に思ったら納得のできる説明をお願いします。（保護者）

→本校では、修明高校の生徒としての責任を自覚し、品位を保つため、服装・頭髪規定を設けております。校則は、学校として生徒を守るものであると同時に、生徒が社会の仕組みやルールを学ぶためのものでもあります。このような校則の意義と役割について、生徒に伝える取組を丁寧に行ってまいります。また、校則について、生徒や地域住民の皆様と考える機会を持ち、よりよい修明高校づくりを目指します。

進路指導に関して

△進学のおすすめなどを知りたいです。（保護者）

→指定校推薦の情報は、校内での取り扱いを厳重に管理しなければならない情報なので、外部に出すことは難しくなっています。指定校推薦を希望する場合は、担任を通して閲覧することが可能ですので、担任へ御相談ください。

△一年に一回でも良いので三者面談があると子供の進路、学校の生活など先生から直接お話しを聞いてみたいです。（保護者）

→三者面談については、学年や希望進路により実施が異なります。三者面談以外でも学校での様子や活動、進路情報についてお伝えいたします。担任へ御連絡ください。

部活動について

○いつもご指導ありがとうございます。部活動でのご指導には親子共々いつも感謝しております。ありがとうございます。学校生活や部活動を通して人間的に成長していけるよう、家庭でできることを導き示して行きたいと思っております。これからもよろしく願いいたします。（保護者）

ボランティア活動について

△ボランティア活動など参加できる機会が多くあれば良いと思います。（保護者）

→今年度も新型コロナウイルス感染症により活動が制限されることが多くありました。生徒のボランティア活動、PTA活動につきまして、今後も感染状況を踏まえての実施となることが予想されますが、「できない」ではなく「どうしたらできるか」という視点で検討し、活動機会を大切にしていきたいと考えます。御理解と御協力をいただきますようお願いいたします。